

記者発表資料
令和4年7月21日
教育庁特別支援教育課
整備計画班 担当：千葉
電話：022-211-3432
tokusei@pref.miyagi.lg.jp

仙台南部地区に新設する特別支援学校に係る校名案について

仙台南部地区に令和6年4月に開校する特別支援学校の校名案を、下記のとおり選定しました。

なお、校名は、県立学校条例の改正により正式に決定されます。

記

1 校名案

みやぎけんりつあきう しえんがっこう
(仮称) 宮城県立秋保かがやき支援学校

2 選定理由

学校の所在地となる「秋保」の地名と、「かがやき」という言葉を入れることで、秋保の地にある学校で、一人一人が輝きながら伸び伸びと学び、成長してほしいという願いが込められているとともに、仙台秋保地区の住民の方々をはじめ、多くの方々に親しまれる校名であるということ、また、これまでの県立特別支援学校の小中高等部に加え、高等学園の機能を併せ持つ新しい形の学校であることから新設校にふさわしい校名と判断した。

3 学校の特徴

新設校は、小学部、中学部、高等部普通科からなるこれまでの特別支援学校の機能と、産業技術科からなるこれまでの高等学園の機能を併せ持つ。また、地域の皆様などが利用できるカフェを設置することにより、生徒が地域の方とふれあいながら実践的な学習を行ったり、コの字型の校舎により児童生徒が集い交流できる中庭を設けたりするなど、多くの面で新しい形の学校となる。

4 検討経過

令和3年11月から令和4年6月までの間に、地域の皆様と学校関係者からなる「校名検討会議」を2回開催し、校名の選定方法や校名候補の絞り込みなどを行ってきた。校名案は一般公募で募り、219件の応募があり、153の校名が集まった。

「校名検討会議」により提案された校名候補を踏まえ、教育庁内の「県立学校校名選定委員会」において、検討及び協議を行い、校名案を選定した。

(仮称)宮城県立仙台南部地区特別支援学校 開設準備だより

令和4年1月 発行 No.1

施設配置イメージ図



**令和6年4月
開校予定**



場所：仙台市太白区秋保町湯元字鹿乙

県教育委員会では、仙台圏域における知的障害特別支援学校の狭隘化の解消を図るため、仙台市太白区秋保町湯元の県有地に、特別支援学校小学部・中学部・高等部を設置するとともに、軽い知的障害のある生徒を対象とした高等部産業技術科を併せて設置し、生徒が地場産業や福祉サービス等の仕事に従事できるよう、実践的職業教育の場として整備します。

新設校が秋保地区の学校として地域の皆様から応援していただけるよう取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

学級編制，定員，コース

学 部	学 級 数 児童生徒数	学級数，児童生徒数の内訳	
		単 一	重 複
小 学 部	12学級， 54人	1学級6人×6学年	1学級3人×6学年
中 学 部	6学級， 27人	1学級6人×3学年	1学級3人×3学年
高 等 部（普通科）	6学級， 33人	1学級8人×3学年	1学級3人×3学年
高 等 部（産業技術科）※注1，注2	12学級， 96人	1学級8人×4コース×3学年	—
計	36学級， 210人		

※注1 高等部産業技術科の通学区域は全県とし、原則、授業のある日は寄宿舍で生活をします。

※注2 高等部産業技術科の入学者選考においては、他の高等学園と同日に共通学力検査等の諸検査を受ける必要があります。

産業技術科のコース	主 な 内 容
① ホテルビジネス	地域性を生かし、宿泊、飲食サービス業に関わる客室清掃やベットメイキング、厨房業務のほか、フロントや売店、飲食店での接客業務などの実習を行います。
② 食品製造	地域の食材を活用した食品製造のほか、販売ルートを確立し、販売・商品管理までを含めた実習を行います。（ドマカフェでの接客業務で実践学習を行う）
③ 流通・サービス	校内及び校外において、日常清掃及び定期的なワックス清掃など、ビルクリーニングや商品管理に関する実習を行います。
④ 介護福祉	介護職員初任者研修修了証（旧ホームヘルパー2級）の取得を目指した、介護・福祉分野に必要な知識と技能を習得します。

